

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名 株式会社ワールド
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝
 (コード番号: 3612 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役 副社長執行役員 中林 恵一
 (電話番号: IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2025年2月期 (2024/3/1~2025/2/28)		上期							下期					通期		
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	1H	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上	※1	98.0	104.8	101.1	109.0	99.2	101.6	102.1	※5 102.9	94.2					97.9	101.1
店舗売上	※2	97.5	102.4	98.3	109.0	95.6	101.6	100.5	※5 102.1	92.2					96.4	99.5
既存店売上	※3	97.9	103.5	99.4	111.0	96.5	102.3	101.4	※5 103.2	92.7					97.1	100.3
Eコマース売上	※4	100.1	115.1	112.6	109.0	114.3	101.4	108.8	※5 105.8	102.1					103.7	107.5
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数	※2	2,207	2,221	2,217	2,218	2,198	2,181	—	2,200	2,221					—	—
出店		30	16	1	1	7	5	60	25	21					46	106
退店		15	2	5	0	27	22	71	6	0					6	77
M&A		8	0	0	0	0	0	8	0	0					0	8
既存店対象店舗数	※3	2,007	2,033	2,040	2,039	2,018	1,990	—	※5 1,993	2,001					—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、当社グループのブランド各社が自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。

※5 2024年9月の国内小売売上前年比が102.7%から102.9%へ、店舗売上前年比が102.0%から102.1%へ、既存店売上前年比が103.1%から103.2%へ、Eコマース売上前年比が105.6%から105.8%へ、既存店対象店舗数が1,995から1,993へ修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況) 休日数(前年差) 当月 △1 前年同月 △1

当月は、国内小売売上が前年同月比94.2%となり、内訳は店舗売上が同92.2%、Eコマース売上が同102.1%となりました。既存店売上は前年同月比92.7%でした。休日数が前年同月より1日減で約1.6%のマイナス影響と推計しております。
 ・10月も例年より気温の高い残暑の日々が続き、気温は下旬にようやく前年並みへ低下しました。店舗販路では、羽織物などの稼働が鈍い状況が続いたことから、売れ筋商品の核を作ることが難しく、秋商材で店頭売上を伸ばし切れませんでした。
 ・EC販路においては、自社EC「WOS」はハロウィン施策が奏功して月末にかけて中衣料で売上挽回したほか、外部ECも主要モールの販促企画への参加などが支えになったものの、EC売上全体では前年から大きく伸ばすに至りませんでした。
 ・アイテム別では、ブラウスが高稼働を継続しており、ニットやカットソーの一枚着のトップスも良好でした。ただ、雑貨では保温マグなど暖をとるアイテムが稼働し始めた反面、アパレルでは羽織物が高気温の影響で例年以上に緩慢な動きでした。
 ・ブランド別では、アパレルは「オベークドットクリップ」など一部の健闘を除いて伸び悩んだものの、インティメイト「リサマリ」や婦人靴「エスベランサ」が伸張したほか、ジュエリー「ココシュニック」や「RAGTAG」はインバウンド需要の支えが継続しました。

(参考: 前期実績)

2024年2月期 (2023/4/1~2024/2/29)		上期							下期					通期		
		4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	9月 Sep.	1H	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term	
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		105.4	105.7	105.0	111.5	111.1	99.6	106.3	102.1	107.0	101.4	102.5	107.5	103.8	105.1	
店舗売上		106.0	105.5	105.0	113.6	113.0	100.4	107.2	100.7	107.2	101.4	101.1	106.4	103.0	105.1	
既存店売上		109.7	109.2	108.4	118.2	118.2	102.7	110.9	103.7	110.6	104.8	104.7	107.5	105.9	108.3	
Eコマース売上		102.8	106.3	105.2	103.6	104.3	96.6	103.2	108.5	106.4	101.6	106.6	110.8	106.6	105.0	
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,225	2,223	2,223	2,205	2,202	2,208	—	2,210	2,215	2,218	2,184	2,184	—	—	
出店		11	0	1	2	4	11	29	4	6	4	0	10	24	53	
退店		10	2	1	20	13	5	51	2	1	1	34	20	58	109	
M&A		0	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	10	10	16	
既存店対象店舗数		2,086	2,094	2,091	2,067	2,049	2,048	—	2,052	2,056	2,062	2,022	1,998	—	—	